

JICA の思い出

河田さと子

日本に来ることがいつも私の一番大きい夢だったから、この JICA 生徒研修に合格したことがわかって、すごくうれしかったです。でも、日本へ出発する前に「日本はどんな国でしょうか。」とか「ほかの研修員たちはどうでしょうか。」とずっと、かんがえていたから、とてもきんちょうしてきました。

日本に着いたとき、みんなあまり話さなかったけど、やさしそうでした。一週間後で私はたくさんともだちを作って、とても楽しくなってきました。この研修で色々なすばらしい経験がありました。私にとって一番よかったけいけんは中学校の学習です。

私は日本の学校のことをよくしらなかったけど、いつも「授業中話すことはいけないので、先生たちはきびしくて、学校の生徒たちはまじめにみえる。」と考えました。私はその思いを持って、仲尾台中学校へ行って、そこに着いた時、本当にびっくりしました。ほとんど生徒はろうかで大きな声で話したり、走って通りすぎたり、たくさん笑っていました。

仲尾台中学校の 2 年 3 組の中はすごくすばらしくて、最初の日にすぐ私のことをもっと知りたがっていました。先生たちは本当におもしろくて、楽しくて、いつも元気そうでした。

とってもみじかい間だったけど、たくさん友達を作って、日本の学校の活動をちょっと習んで、いつも、友達になっていました。

きっと、この中学校のことを忘れられません。

この JICA 生徒研修で色々日本の文化とか歴史とかしゅうかんを学ぶことができます。

私のおじいさんはいつも「さと子、ちゃんと聞いてね、15 歳になったら、JICA の試験うけて日本へ行かなければなりません。」と言っていたから、そえは私の頭に入って、自分の目的になりました。

それから、JICA 生徒研修を受けたために二年間一生懸命勉強したから、合格することができました。日本で私の家族のふるさとを体験することができて、たくさん色々な食べ物をたべて、すてきな場所に行って、日本で住んでいる親せきに会って、たくさん話して、本当にすばらしい研修でした。

あと四日間でこの研修がおわってしまうけど、それはおわりじゃなくて、新しい明日への始まりだと思います。

JICA のみなさん、どうもありがとうございます！